

封  
本  
想  
打  
解  
二  
十  
職  
本  
ト  
ハ  
午  
ヨ  
高

時會社ヨリ解産年当トシテ各自金一  
封(平九十月)ヲ受領シ一旦元爭議團  
本部ニ引上ケテ之ヲ閉封ニタルニ其額多  
想ニ及シ少カカリトテ憤慨シ今三時再々  
打揃ヒ会社ニ至リ其代表者豊岡利吉外  
津名八布施工場長ヲ面會シ右百廿九方  
解産年当トシテ返附スルト共ニ量ニ提出  
ニタル解産額ヲ概回スルハ夕道リ尚明  
十日(九日八日定休日)ヨリ出勤スヘシト告ケ  
タル上門前ニ待テツ、アリシ一被解産  
職ニト共ニ全四時頃退去セリ  
本日被解産在者約百名ハ執業中ノ職ニ  
ト共ニ出勤シ入場セムトニタル元會社側  
ハ之ヲ拒絶セルヲ以テ其一部約三十名ハ  
午前八時頃更ニ石炭船ニ搭乗シ河岸  
ヨリ鍛造工場外圍ニ廻リ少時勞働歌ヲ  
高唱スル等盛ニ氣勢ヲ示シタル元内

増  
此

部ノ執業職ニハ共鳴スル模様ナキ為メ  
引返シ工場前廣場ニテ大部ノ者ト合  
体ニ協議ノ上豊岡利吉外五名ヲ代表  
者ニ選定シ一同其場ニテ救會ニ其代  
表者等八年前十時布施工場長及水  
野廣務課長ニ面會シ解産年当ニ関シ  
別紙共濟會規則ニ依ル額ニ其入割ヲ  
附加シタルモノヲ支給セラシムト要  
求シ合ニ工場長ハ前記金一封ニ其割  
ヲ附加シタルモノハ自己ニ取扱ヒ依  
リ認容スヘシト答へ双方自説ヲ固持シ  
交渉横々ニカラテハ双方自説ヲ固持シ  
スヘク豊岡利吉等八年後二時一先元  
争議團本部ニ引上ケ午後三時十分  
再々左ニ工場長ヲ訪問シ折衝シ重不  
タル結果會社側ハ更ニ讓歩シ別紙  
共濟會規則ニ依ル退職年当額及布